



イ・ウンギョン

所属: ZOA FILMS

職位: プロデューサー

住所:

#510 Hyudae Tres Bien,55
Ikseon-dong, Jongno-gu, Seoul
South Korea

連絡先:

Tel: +82-70-8713-8877
Mobile: +82-10-8892-3844
Email: lipslips@hanmail.net

K-Dragon Pictures

住所:

#510 Hyudae Tres Bien,55
Ikseon-dong, Jongno-gu, Seoul
South Korea

連絡先:

Tel: +82-70-8713-8877
Email: lipslips@hanmail.net

夏のワルツ

作品概要

여름왈츠 | Waltz in Summer

監督: 未定 | プロデューサー: イ・ウンギョン | 製作会社: ZOA FILMS | シナリオ: オリジナル
作品区分: 実写劇映画 | ジャンル: 音楽ドラマ | 製作形式: デジタル | 使用言語: 韓国語、日本語
撮影予定日: 2016. 05

直接制作費(KRW): 1,000,000,000 | 確保済み制作費(KRW): 100,000,000

共同製作 希望形態: 共同製作 | シナリオ: 初稿

プロジェクトの進行状況:

韓国と日本の多くの監督や作家とプロジェクトを試みた作品であるが、なかなか方向性が決まらなかった。そうした過程の中で多くのことを得た。より可能性のあるプロジェクトとして発展可能な方向性やノウハウも得られたし、本格的な進行前に良いパートナーにも出会えた。この機会を生かして、これまでの試行錯誤をもとに、新しい設定でまた一から始めたい。

製作計画書:

- 作品の企画意図及び製作の方向性—誰にでも一度は戻ってみたい光り輝く青春の1ページがある。真夏の太陽のように、数多くの記憶の中でも胸を焦がすような記憶の瞬間がある。それが異国の地の記憶であれば、時が流れても記憶の片隅に長い間残されることだろう。光り輝く青春の記憶の中、異国の地に流れるピアノとギター旋律をバックに初恋の人から告白を受ける。その後、歳月は流れ、人生を振り返る年になって、ふと、あの時に戻って確かめたいと思うことがある。もう過去となった、過ぎ去りし青春への口惜しさ、それは今の若者の目にどのように映るのだろうか? 若者よ、勇気を出して思い切り愛し合い、精一杯思い出を作ろう..そして、共に演奏し共に歌おう! 人生のひとこまひとこまは、戸惑いよりも出した勇気のみで埋められていく。音楽には異なる文化や言語、慣習を一気に超える魅力がある。簡単に一つになって、共にすることができる。だからこそ音楽映画は共同製作に非常に適切なジャンルといえよう。1975年、そして2015年、40年の間に時代は大きく変わったが青春と愛の本質は変わらない。この映画はそうした青春と音楽に関する物語だ。

- 資金調達の実況及び計画—韓国合作の場合、韓国より日本の方が進行上の障害が少ない。韓国での日本映画や日本俳優の人気より、日本での韓国映画や韓国俳優の人気が多高からである。また、韓国より日本が平均制作費が安く、進行が容易であるという利点がある。韓国市場には、まだ共同製作に対するアレルギー反応があって資金調達が難しい反面、日本の場合は予算が高くない場合、人気俳優や音楽等を上手く配置すればパートナーを確保しやすい。現在、日本の製作会社 dubと共に脚色方向を定め、日本をメインマーケットとする原稿の脚色を進めている。9月中旬にシナリオを完成させ、キャストと共に日本の資金調達先を決める予定。

- キャスト及びスタッフの構成—主人公のミエコ教授(65)と 就活中のユイ(23)は日本俳優、韓国で音楽を演奏するか過去の青年(22)と現在のミンウ(22)は韓国俳優、一人二役も考慮中。80%以上が韓国での撮影となるため、監督を除いたスタッフは全て韓国スタッフ。音楽監督は韓国と日本のコラボレーションの可能性あり。

- 国内外の配給計画—メイン市場となる日本では、アスミック・エースが女性観客をターゲットに20億程度の商業映画として設定を希望する場合、150~200スクリーン程度の中規模ワイドリリースの配給になるだろう。但し、もう少し縮小した規模で作品を設定する場合は東京、大阪、名古屋を中心としたミニシアターの配給から徐々に拡大して最終的に70館規模の公開も考えられる。韓国の場合、多少リスクがあるが、音楽的要素を上手く生かし、韓国人が好むヒューマン・コメディとして冒険してみるというのも可能だろう。が、やはり中規模の150~200スクリーンのワイドリリースが最善だと思われる。青春音楽映画は海外市場規模がそう大きくはないが、全般的に形成されているため、リスクを最小化する可能性を持つ戦略の一つと言えるだろう。勿論、監督と俳優の選定は映画のヒットだけでなく、作品のクオリティー面においても非常に重要な要素となるだろう。

制作スタッフ情報

監督: 今泉力哉(候補)

作品経歴: 2010年、短編「足手(ashide)」脚本&監督。| 2012年、長編「こっぴどい猫(catch a terrible cat)」脚本&監督。

プロデューサー: イ・ウンギョン (海外行事参加者)

作品経歴: 2015年、韓香日合作「ヴァンパイアを愛した男(A man who loves a vampire)」、韓日合作「アムール(Amour)」撮影準備中。

作家: 今泉力哉(候補)

作品経歴: 내용 잘못 들어옴

製作会社: ZOA FILMS

作品経歴: 2013年、低予算韓日合作「ある優しき殺人者の記録(A record of Sweet Murder)」製作。

2014年、低予算韓日合作「マッドムービー(Mad Movie)」、「ラブ&ソウル2)」製作。

2015年、韓香日合作「ヴァンパイアを愛した男(A man who loves a vampire)」、韓日合作「アムール(Amour)」撮影準備中。

参加にあたってのコメント(その他):

以前は韓日合作のスタッフとして参加したり、作品コーディネーターとしてプロジェクトのサポーターの役割を主に果たしてきたが、2012年からは韓日合作の企画から資金調達、製作、配給までを直接手がけている。韓日合作